

ご回答いただく前に、差し支えなければ、下記についてご記入ください。

A:性別 男 女

B:年齢 20歳未満 20～29歳 30～39歳 40～49歳 50～59歳 60～69歳 70～79歳 80歳以上

C:ご職業 学生 会社員 公務員 自営業 主婦 その他

Dお住まいの都道府県【

】

予算の使われ方

Q1: あなたが財務大臣になったつもりで、国の予算(歳出)をどのように配分すべきかを考えてみてください。このとき、予算を増やすべきだと思う分野を、以下から5つ以内で選んでください。

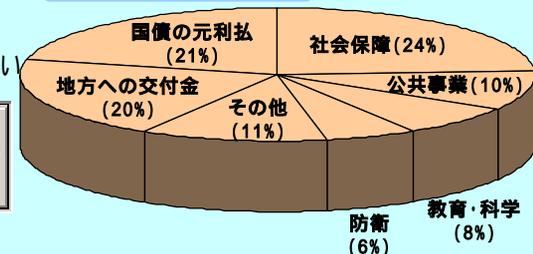
- | 〔公共事業〕 | 〔自然環境〕 | 〔教育、科学、文化〕 | 〔産業・エネルギー〕 | 〔社会保障〕 | 〔防衛、外交、治安〕 | 〔食料・農林水産業〕 |
|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 道路 | <input type="checkbox"/> 廃棄物処理 | <input type="checkbox"/> 小・中・高教育 | <input type="checkbox"/> 産業振興 | <input type="checkbox"/> 年金 | <input type="checkbox"/> 防衛 | <input type="checkbox"/> 食品の安全・安心 |
| <input type="checkbox"/> 港湾空港鉄道 | <input type="checkbox"/> 水質・土壌保全 | <input type="checkbox"/> 大学教育 | <input type="checkbox"/> エネルギー対策 | <input type="checkbox"/> 医療 | <input type="checkbox"/> 外交 | <input type="checkbox"/> 食料の安定供給 |
| <input type="checkbox"/> 情報通信 | | <input type="checkbox"/> 科学技術 | <input type="checkbox"/> 中小企業対策 | <input type="checkbox"/> 介護 | <input type="checkbox"/> 開発援助(ODA) | <input type="checkbox"/> 農山漁村振興 |
| <input type="checkbox"/> 上下水道 | | <input type="checkbox"/> 文化 | | <input type="checkbox"/> 福祉 | <input type="checkbox"/> 治安 | |
| <input type="checkbox"/> 住宅都市 | | | | <input type="checkbox"/> 雇用・失業対策 | <input type="checkbox"/> 司法 | |
| <input type="checkbox"/> 森林・河川保全 | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 農地改良・漁港 | | | | | | |

Q2: 同様に、予算(歳出)を減らすべきだと思う分野を、以下から5つ以内で選んでください。

- | 〔公共事業〕 | 〔自然環境〕 | 〔教育、科学、文化〕 | 〔産業・エネルギー〕 | 〔社会保障〕 | 〔防衛、外交、治安〕 | 〔食料・農林水産業〕 |
|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 道路 | <input type="checkbox"/> 廃棄物処理 | <input type="checkbox"/> 小・中・高教育 | <input type="checkbox"/> 産業振興 | <input type="checkbox"/> 年金 | <input type="checkbox"/> 防衛 | <input type="checkbox"/> 食品の安全・安心 |
| <input type="checkbox"/> 港湾空港鉄道 | <input type="checkbox"/> 水質・土壌保全 | <input type="checkbox"/> 大学教育 | <input type="checkbox"/> エネルギー対策 | <input type="checkbox"/> 医療 | <input type="checkbox"/> 外交 | <input type="checkbox"/> 食料の安定供給 |
| <input type="checkbox"/> 情報通信 | | <input type="checkbox"/> 科学技術 | <input type="checkbox"/> 中小企業対策 | <input type="checkbox"/> 介護 | <input type="checkbox"/> 開発援助(ODA) | <input type="checkbox"/> 農山漁村振興 |
| <input type="checkbox"/> 上下水道 | | <input type="checkbox"/> 文化 | | <input type="checkbox"/> 福祉 | <input type="checkbox"/> 治安 | |
| <input type="checkbox"/> 住宅都市 | | | | <input type="checkbox"/> 雇用・失業対策 | <input type="checkbox"/> 司法 | |
| <input type="checkbox"/> 森林・河川保全 | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 農地改良・漁港 | | | | | | |

Q3: 予算の使い道として、特に無駄だと感じているものがあれば、具体的にご記入ください。

16年度予算の構成比



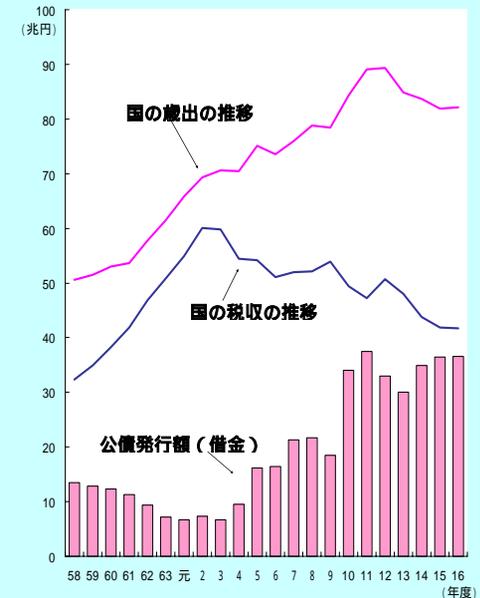
財政の現状

Q4: 我が国の財政の現状については、平成16年度末で、国及び地方の長期債務残高は719兆円程度(対GDP比で143.6%)、公債残高は483兆円程度(国民1人当たり約378万円。4人家族で約1,512万円。)になると見込まれています。こうした現状を見て将来に不安を感じますか？また、将来の不安に備えて、消費を減らしたり(貯蓄を増やしたり)していますか？

- 不安を感じるが特に何もしていない
- 不安を感じて消費を減らしている(貯蓄を増やしている)
- 不安を感じない

Q5: 我が国においては、国の財政赤字は年々拡大する傾向にあり、平成16年度予算においては、国(一般会計)の歳出の50.8%しか税収では賅われておらず、逆に44.6%が公債発行(借金)により賅われています。財政赤字を減らすための財源は、どのようにして捻出すべきだと思いますか？

- 増税 歳出削減 増税と歳出削減の両方
- 景気が回復すれば自然増収で財政赤字を縮減できる
- 財政赤字を縮減する必要はない(借金し続ければよい)



Q6: 財政出動による景気回復と財政赤字の縮減と、どちらに、より優先的に取り組むべきだと思いますか？

- 財政出動による景気の回復
- 財政赤字の縮減
- 両方に同時に取り組むべき

社会保障

Q7: 年金、医療、福祉などの社会保障給付は、社会保険料や公費負担(税負担)などによって賄われています。現在の社会保障の給付と負担の水準(平成15年度の社会保障給付83.4兆円(国民所得比22.8%)、負担80.0兆円(国民所得比21.9%))について、どのように思いますか。

- 水準が高すぎる
- 適当な水準である
- 水準が低すぎる

Q8: 少子高齢化に伴い、高齢者に対する給付が特に大きく伸び(平成14年度の約82兆円が平成37年度(2025年度)には約176兆円に増大)、一方でこれを支える現役世代の負担が増大(国民所得比で平成14年度の約22 1/2%が平成37年度には約32 1/2%に増大)することが見込まれます(いずれも厚生労働省試算(14年5月))。高齢者に対する医療や年金等の給付の今後の在り方について、どのようにすべきと考えますか。

- 高齢者への給付を縮小してでも、現役世代の負担の伸びを抑制すべき
- 高齢者への給付は適当な水準であり、現役世代の負担は見込みどおり増やしてもいい
- 現役世代の負担を見込みより増やしてでも、高齢者への給付を増やすべき

公共事業

Q9: 90年代以降、我が国では景気対策などのため積極的に公共投資を行ってきましたが、近年は、厳しい財政状況を踏まえ投資規模を縮減してきており、平成16年度では国の一般歳出47.6兆円のうち公共投資関係費は8.6兆円(18.1%)、地方(地方財政計画)の歳出総額84.7兆円のうち投資的経費は21.3兆円(25.2%)となっており、重複分を除いた国・地方の公共投資額は26.4兆円となっています。現在の公共事業の規模について、どのように思いますか。

- 規模が大きすぎる
- 適当な規模である
- 規模が小さすぎる

Q10: 景気対策としての公共事業について、どのように考えますか？

- 積極的に取り組むべき
- 抑制すべき
- 景気の状態に応じて考えるべき

地方財政

Q11: 地方の歳出は近年まで国の歳出を大幅に上回って増加しており、平成16年度においては、国(一般会計)の歳出が82.1兆円であるのに対し、地方の歳出は84.7兆円(地方財政計画による)となっています。地方の歳出規模について、どのように考えますか。

- 国の歳出よりも抑制すべき
- 国の歳出と併せて抑制すべき
- 地方の歳出については現状を維持すべき
- 地方の歳出をもっと増やすべき

Q12: 地方の歳出について、増やすべきだと思う分野を、以下から3つ以内で選んでください。

- 総務費(徴税、選挙、統計など)
- 土木建設(都市計画、道路、橋梁、河川など)
- 教育と文化(学校、体育館、図書館、公民館など)
- 生活・福祉(児童福祉、老人福祉、生活保護、失業対策など)
- 産業の振興(中小企業対策、企業誘致など)
- 農業の振興
- 保健衛生と環境保全(ごみ処理、下水道など)
- 警察と消防(警察、消防)

Q13: 地方の歳出について、減らすべきだと思う分野を、以下から3つ以内で選んでください。

- 総務費(徴税、選挙、統計など)
- 土木建設(都市計画、道路、橋梁、河川など)
- 教育と文化(学校、体育館、図書館、公民館など)
- 生活・福祉(児童福祉、老人福祉、生活保護、失業対策など)
- 産業の振興(中小企業対策、企業誘致など)
- 農業の振興
- 保健衛生と環境保全(ごみ処理、下水道など)
- 警察と消防(警察、消防)

その他

Q14: 質問はこれで終わりです。最後に、我が国財政の現状及び社会保障、公共事業、地方財政などの各分野の課題等について感じることがあれば、ご記入下さい。

また、予算を含め、財政運営について分かりやすくPRしていくには、どのような工夫が必要だと思いますか？このアンケート調査に対するご意見を含め、何かあれば、ご記入ください。

